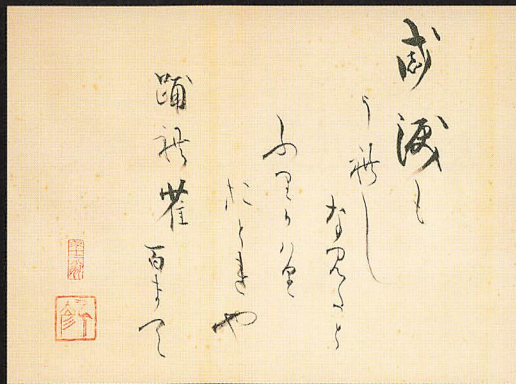


大倉喜八郎と 大倉集古館

—— 事業と美術品蒐集の軌跡



1



3



4



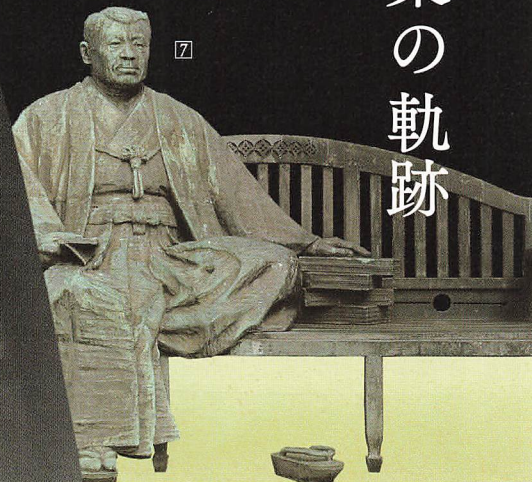
2



5



6



7



8

2009年7月4日(土)
～7月28日(火)
大倉集古館

- 1 狂歌「このころは」 大倉喜八郎
- 2 「萩に螺鈿象嵌火鉢」 木内喜八
- 3 狂歌「感涙も」 大倉喜八郎
- 4 「恵比寿の切貼と鶴彦翁狂歌」 北澤楽天・大倉喜八郎
- 5 「四君子象嵌重硯箱」 木内半古
- 6 「長生殿蒔絵手箱」 (重要文化財)
- 7 屋外展示「大倉鶴彦翁像」 武石弘三郎
- 8 屋外展示「仁王立像」

主催：大倉集古館
協力：(株)ホテルオークラ東京、大成建設(株)
特別協力：学校法人 東京経済大学
休館日：月曜日(7月20日は開館)
開館時間：10:00-16:30 (入館は16:00まで)



大倉喜八郎 と 大倉集古館

—— 事業と美術品蒐集の軌跡



「大倉鶴彦翁夫妻像」高村光雲・光太郎 合作 昭和2(1927)年

大倉集古館の創立者・大倉喜八郎は、天保8年越後新発田に生まれ、18歳で幕末動乱期の江戸に出て商売の基礎を学び、明治の幕開けに様々な事業を興し、日本の新興産業発展の一役を担いました。同時に育英、慈善事業及び文化財保護にも尽力した喜八郎の人物像を、多彩な趣味や交流の様子を示す美術作品や資料により顕彰する展観です。

「主な作品」

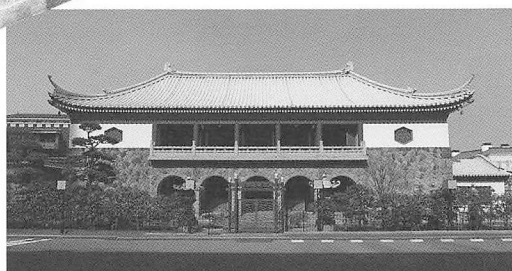
- 「長生殿蒔絵手箱」 鎌倉時代 重要文化財
- 「兩岸一覽」 鶴岡蘆水 江戸時代・天明元(1781)年
- 「心学先哲叢集・完」 江戸時代・安政7(1860)年(東京経済大学所蔵)
- 「博物館」 徳川慶喜 明治時代
- 「梅花詩」 西郷隆盛 明治時代
- 「六然訓」 勝海舟 明治12(1879)年
- 「萩に螺鈿象嵌火鉢」 木内喜八 明治30(1897)年
- 「静夜之詩」 西園寺公望 大正6(1917)年
- 「恵比寿の切貼と 鶴彦翁狂歌」 北澤楽天・大倉喜八郎 大正15(1926)年
- 「大倉鶴彦翁夫妻像」 高村光雲・光太郎 合作 昭和2(1927)年
- 「四君子象嵌重硯箱」 木内半古 昭和6(1931)年
- 「大倉喜八郎 狂歌」 明治～昭和時代
- 「鶴彦翁石印」 各種 明治～昭和時代



「博物館」徳川慶喜 明治時代



屋外展示:「双亀」武石弘三郎 大正2(1913)年



大倉集古館 外観正面



館内階段:「獅子」

主 催：大倉集古館
 協 力：(株)ホテルオークラ東京、大成建設(株)
 特別協力：学校法人 東京経済大学
 休 館 日：月曜日(7月20日は開館)
 開館時間：10:00 - 16:30 (入館は16:00まで)

〈料 金〉一般…800円
 大学・高校生・65歳以上…500円 中学生以下…無料
 *土・日曜は高校生以下の生徒と引率の両親・教師無料
 20名様以上の団体は100円引、障害者並びに付き添い1名は無料

★セット鑑賞券のご案内
喫茶券 1600円 / 食事券 3200円
 ホテルオークラ東京のレストラン・バーとのセットです。

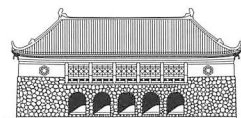


アクセス(地下鉄東京メトロ)
 | 南北線 六本木一丁目駅より5分 | 日比谷線 神谷町駅より7分
 | 銀座線・南北線 溜池山王駅より8分 | 銀座線 虎ノ門駅より10分

|| 次回展示のお知らせ ||

8月4日(火)～9月27日(日)
館蔵品展 花・華 — 日本・東洋美術に咲いた花 —

花を取り巻く華やいだイメージは、時代や地域を問わず人々を魅了してきました。日本では季節ごとに移ろう花々に心を寄せ、情緒とともにその姿を表現することが好まれますが、中国では古来、花は吉祥モチーフとして、季節に関係なく美術や工芸にあらわされています。本展では所蔵品の中から日本・東洋美術にみられる花モチーフの諸相をご紹介します。



財団法人 大倉文化財団
大倉集古館
 OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 ☎ 03-3583-0781
<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/shukokan/>